



十小だより

令和 8 年 1 月 3 0 日
第 1 0 号
府中市立府中第十小学校

自分で学ぶ姿が素晴らしい

校長 草刈 あずさ

1月23・24日の学習発表会では、多くの保護者の方や地域の方に参観いただき、ありがとうございました。冬休みを挟んで練習を行い、各学年とも、素晴らしい表現にまともりました。23日の児童鑑賞日の冒頭の校長あいさつで、他の学年の表現を見るときに、応援する気持ちをもって楽しんでほしいということを子どもたちに話しました。トップバッターの3年生の劇から始まり、鑑賞している子どもたちの笑い声、歓声、応援する声、手拍子などが次々と起こりました。発表している子どもの姿にうるっとなりますが、それだけでなく、素直に楽しみ、応援できる十小の子どもたちのよさが、参観者からも見られ感動しました。本当に素晴らしい子どもたちです。また、保護者の皆様には、保護者鑑賞日に譲り合いにご協力いただき、円滑に運営できましたこととお礼申し上げます。

1年のまとめの時期として、十小の子どもたちの素晴らしさの中から、もう一つ、「学ぶ」ということについて、紹介したいと思います。

十小では、3年生以上の社会科の学習を中心に、学習計画に基づいて、自分で考えて、調べて、まとめることに取り組んでいます。始業式や終業式などで、担当となった学年の代表の子どもが目標やがんばったことを発表する時にも、「自分で工夫して調べてまとめることをがんばった」と発表する子が多くいます。「校長先生、見てください」と誇らしげにノートを見せてくれる子もいます。自分の学んだことに自信をもち、達成感を感じてのことだと思います。「もっと時間がほしい」「調べているうちに、もっと追加で調べないといけないことが出てきたので調べている」など意欲的な姿がたくさん見られます。その中で、友達と一緒に学んだり、友達の考えを聞いて付け足したりしている子も多くいます。従来行われてきた教員が教えて子どもが指示を聞いて、調べたりまとめたりするという学習よりも、意欲的に取り組んでいると感じます。

このことは十小の学校経営方針の「自分で考え行動する機会を重視し、一人一人を大切に作る学校」を具現化するための取り組みの一環ですが、1年生の生活科でも同様に子どもが自分で学ぶことを大切にしていますし、他の教科や行事などの場面でも、教員が子どもたちの思いを大切に授業を工夫しています。これからも、子どもたちが自分で考えて行動したり、学んだりして、達成感を感じられる機会をつくっていききたいと思います。

今後とも、十小の教育活動へのご理解とご協力、応援をよろしくお願いいたします。

インフルエンザが再流行の兆しを見せています。手洗い、うがい、十分な睡眠や栄養など、子どもたちの健康管理をよろしくお願いいたします。